

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 清水 唯史

島田市議会議員 井上 篤

島田市議会議員 青山 真虎

島田市議会議員 横山 香理

島田市議会議員 曾根 達裕

島田市議会議員 四ツ谷 恵

島田市議会議員 桜井 洋子

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和4年10月29日（土）
午後7時00分～午後8時30分
- 2 会場 初倉公民館 くらら
- 3 参加者数 18人（男性 16人、女性 2人）
- 4 役割
 - (1) 受付 青山
 - (2) 司会 曾根
 - (3) 挨拶（概要） 清水
 - (4) 報告 提言 清水
厚生教育常任委員会 横山
経済建設常任委員会 井上
総務生活常任委員会 桜井
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 四ツ谷

5 報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

① 厚生教育常任委員会

放課後児童健全育成事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、公民館・公民館類似施設管理運営事業、学校給食運営事業、こども発達支援事業の5つを重要案件として位置づけた。最重要案件として「こども発達支援事業」を取り上げることとした。子どもの発達に関する相談が増え、検査に半年も待つ現状があり、人材不足であることが分かった。言語聴覚士などの有資格者の正規職員採用と財政面の拡充を求め、市長への提言とした。

② 経済建設常任委員会

ビジネスニーズ参入支援補助金、川越し街道賑わい創出事業、道路維持修繕事業、公園施設長寿命化対策支援事業、人・農地プラン策定事業の5つを重要案件とした。賛否が分かれたが、最重要案件として「人・農地プラン策定事業」を取り上げることとした。増加する荒廃農地対策と深刻な後継者不足を解消するための後継者育成など「人・農地プラン策定事業」の強力な推進が必要となるため、決定し提言とした。ほかに特別会計として、島田市水道事業会計、島田市公共下水道事業会計の認定を行った。

③ 総務生活常任委員会

空港周辺プロジェクト推進事業(旧金谷中学校跡地の利活用)、ふるさと寄附金推進事業、子育て支援プラットフォーム等構築事業、デジタルマーケティング施策推進事業、田代環境プラザ運営費の5つを重要案件として位置づけた。さらに最重要案件として「一般廃棄物最終処分場管理費」を審査し取り上げた。今年2月、最終処分場は、地権者に返却された。その状況を確認し、跡地をどう活用するのか検討する。今後の市内最終処分場の適地の有無について市は再検討する必要がある。最終処分場の必要性を確認するため提言に盛り込んだ。

また、旧金谷庁舎のPFI事業について市と業者との方針の食い違いが明らかになり問題となっている。引き続き注視していく必要がある。

④ 報告に対する質疑

- ・ Q 金谷中学校跡地の件について、当初計画されていたアウトレット事業が御破算になったが、その経緯について説明してほしい。また、今後の計画についてはどうか。

カタクリ会館の新築についてどのくらいの費用がかかったのか。

- A 計画立案後、ある程度進行し契約したが、新型コロナウイルス感染症による環境の激変により、参入した事業者より撤退の申し出があった。4～5月分の契約期間の地代は徴収済みである。結果、市当局としては許諾に至った。なお、道路など周辺整備を行うのみとなった。当該案件につい

ては、新規事業、または地域活性化のために必要な整備を行ったという以外に追加投資はないものとしているが、今後も予算が出てきた時点で審議していく予定である。

当該跡地については、アウトレット以外のほかの活用方法を引き続き検討している。

カタクリ会館については、手元に資料を持ち合わせていないが、地元
の合意の上での新築である。

(2) 意見及び情報の交換について

今回のテーマ「台風 15 号被害について」＋その他

- ・ Q 川根地区を中心に台風で大きな被害が出たが、その被害に対する救済措置としての見舞金の基準はどう決められたのか？
 - A 川根地区だけでなく市内の多くの場所で被害が出ている。被害にあった場合は、まずは罹災証明を提出し、当局の認定・査定後に、床上浸水の被害に対しては2万円、床下浸水の被害については1万円の見舞金が出る。
なお、被害家屋及び周辺の清掃などに使用した水道量についても補助金が出る予定。

- ・ Q 初倉地小学校南側の新興住宅地では、初倉小学校のグラウンドと高低差があり、グラウンド側が高いため、台風による大雨で、グラウンドの土砂が周辺住宅地及び水路に流れ込み、被害(床下浸水、車の冠水ほか)が出た。市に相談のため、まずは生活安心課市民相談係に電話したが、「施設課へ電話してください」と言われ、施設課に連絡したところ、「学校関係へ」と言われ、たらい回しとなった。さらに「予算がないから」「支援要請は、町内会を通して・・・」との話もあり、困惑した。今後も同様の被害が出る可能性があるので、排水路の整備、グラウンドからの土砂流失防止用の土留めなどの設置を含め、対応してほしい。
 - A 台風直後は、いろいろなところからの情報があったが、市当局側にまだ対策本部が設置されておらず、対応がスムーズに運ばなかったようなところもあった。当該地区は、「色尾東」地区と分かったので、今後、初倉地区の市会議員2名が現地を色尾東地区の自治会長と共に現状把握し調査していきたい。市と対応策を検討する。

- ・ Q 昨年はオンラインで議会報告が行われた。やはり対面方式がいかに大事かと思う。
 - 台風 15 号では、初倉地区でまた大きな被害が発生し、特に南原団地が被害を被った。地区は「窪地」という立地でもあり、根本的な対策を講じないと、毎年水害に遭い、出るに出不可能な状況がある。原因を突き詰めてどうしたら解決するか国の補助も視野に入れ、市は、負担を少なく優先順位をつけて被害を起こさないための施策を考えていただきたい。静岡県は激甚災害地域に指定

されているので優先的に使えるのではないか。議員と一緒に被災した場所を回った。現場を見ることが大事。市と議員、自治会が協力し本当に必要なところに必要な対策が講じられるようお願いしたい。

A フェイス to フェイスが大事で、このような会をぜひ今後も引き続き開催して、皆さんの日頃の声を聴いていくよう努力する。

A 基本的には、国が指定する激甚災害の補助金は、主要なインフラ（河川・道路、上下水道、公共土木施設、福祉施設、公立学校、農地、林道ほか）の復旧にしか使えない仕組みとなっている。頻発する水害については、該当地区の自治会長の意見を聞き、市当局、議員と共に必要な対策案を練り、要請していく。国に対して意見書として提出するかどうかも考えたい。

・ Q 大井川の島田大橋付近の右岸の整備箇所が、今回の台風でかなりの被害を受けたように見えるが、今後の整備について教えてほしい。また、蓬莱橋の湯日側は最終処分場がある。その後、どのようになるのか、使用計画が分からない。担当者は地元と話し合うと言っていた。現場を見てから議論していただきたい。

A 当該右岸は、国交省が主体で整備している。令和8年までに整備する計画だが、土地権利関係が私有林など含め錯綜している関係で、なかなか整備が進まないのが現状である。左岸から観光客を確保したい計画であるが、今回の大雨で、予定どおり計画が進むか心配している。

(3) 市等への要望事項

・ Q 今までもこのような意見交換会があったが、島田市全体の話が多く、初倉地区に特化した初倉地区活性化計画のような話を聞きたい。初倉地区の特徴を生かした施策を実行することで、初倉地区がより良い環境になるような方策を検討してほしい。例えば、将来的に小中一貫校の計画があるが、その用地買収を前倒しする予定はないか。また、全体的に市側の説明が不足していると感じている。

A 小中一貫校については、当局の考えはあるが今のところ決まっていない。令和8年までは土地の買収はできないことになっており、立地適正化計画には盛り込んでいないと記憶する。将来しっかりとした総合的計画の中で確定していくので、今後当局がどのような進め方を示すのか、皆さんの要望を踏まえ、注視していく。

6 まとめ（所見）

今回の議会報告会で要望のあった案件については、議員各自が行う一般質問などで、課題を明確化しつつ、市当局と協力して島田市の発展に貢献できるよう努めていく。